

“鎌倉楽しむ会” 第24回例会のご案内

「江戸東京」歴史の片鱗を訪ねる

漸く秋らしい風も吹き始めました。皆様におかれましては益々のご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

いつも「鎌倉楽しむ会」の諸行事にご協力いただき有難く御礼申し上げます。

10月次の「鎌倉楽しむ会」はタイトルを「江戸東京の歴史の片鱗を訪ねる」と題して、

{江戸東京} 歴史の片鱗コース

…地下鉄池袋駅サンシャイン方面35番・地上出口午前9時40分
～東池袋公園～雑司ヶ谷霊園～都電に乗り～学習院下駅で降車～金乗院～
～（宿坂）～南蔵院～高田氷川神社～山吹の里碑～面影橋～甘泉園～
～水稻荷神社～堀部安兵衛助太刀の碑～早稲田大学大隈総長像～

《 昼食は大隈庭園内の早大の学食で !!! 》

～ {食後} ～穴八幡宮～戸山公園【箱根山】…解散午後2時50分予定…

下記の通り催します。ご案内申し上げます。

記

開催日 平成30年10月24日（水）

集合場所 地下鉄池袋駅サンシャイン方面35番・地上出口

集合時間 午前9時40分 《スタート》～9時45分

コース内の解説資料 別紙の通り

参加費 ￥500円 （交通費・昼食代は自己負担）

今回の「江戸東京歴史の片鱗」は ①東京裁判 ②著名人が眠る処 ③400年前の大事件 ④名作・三遊亭圓朝の怪談の舞台 ⑤太田道灌の故事 ⑥御三卿清水家の下屋敷 ⑦堀部安兵衛助太刀の場所 ⑧学生気分の昼食 ⑨一陽来復の穴八幡宮 ⑩都内で最高峰の箱根山等々、落語・講談・歌舞伎にて数多の題材になっている場所を訪ねてみます。

ご自分のご都合に合わせ無理のない範囲で、紅葉も始まる秋を、のんびりと散策していただければと思っています。

敬具

鎌倉楽しむ会 企画責任者 清藤 孝

携 帯 090-3083-1311

携帯アドレス seidoh - takashi@docomo.ne.jp

《江戸東京・歴史の片鱗を訪ねる散歩》

…池袋から戸山公園まで…

① 東池袋中央公園



● 巢鴨刑務所跡地の再開発事業により、サンシャイン 60 などのビルとともに公園が造られました。周囲をうっそうと茂る森が囲み、街の雑踏から隔離された静かな公園です。遠くからながめると、はるか池袋の天を仰ぐサンシャイン 60 とプリンスホテルの、2本の足元を彩る小さな森のよう。近代的なこの公園に梢を連ねる樹木はモッコクやヤマモモ、マテバシイなど。とくに正面入り口付近に列植されて 24 本のラ



クウショウは秋の紅葉が見物です。他に、都内では希少なセコイヤセンペルビレンスもみられます。広々とした園内には、黒い自然石で作られたカスケード風の池があり、サラサラと水の音が、キラキラと水面の太陽が、ロマンチックな時を演出します。少しだけ雑踏を離れ、のんびり日向ぼっこや緑の散策を楽しみたいものです。(豊島区のHPより)

● 園内には「永久平和を願って」の碑もあります。碑の裏面には・・・第二次世界大戦後、東京市ヶ谷において、極東国際軍事裁判所が課した刑及び他の連合国戦争犯罪法廷が課した一部の刑が、この地で執行された。戦争による悲劇を再びくりかえさないため、この地に前述の遺跡としこの碑を建立する。昭和 55 年 6 月

② 雑司ヶ谷霊園



● 雑司ヶ谷霊園には著名人が多く眠っており、左の画像は霊園案内の一部ですが、そこには 48 名の著名人が載っています。知っている方の一部ですが、夏目漱石、ジョン万次郎、永井荷風、竹下夢二、大川橋蔵、小泉八雲、小栗忠順、岩瀬忠震などです。霊園の広さは 11 万 5 千平方メートルで、明治のはじめに墓所を持たない東京を故郷



とする市民のため共同墓地として造営され、明治 7 年 (1874) に雑司ヶ谷墓地として開園しました。

● この地は、江戸時代の徳川 8 代将軍吉宗公が享保 4 年 (1719) 以降、幕府の御鷹部屋をこの地に作った。鷹狩に用いる鷹の飼育や訓練のため鷹匠頭をはじめ目付、同心など常時 7, 80 名がいました。また、鷹狩の際には将軍が立ち寄って休息したり、食事をとったりしたこともあったようです。

③ 都電荒川線



● 都電で唯一残る「都電荒川線」は、早稲田駅から三ノ輪駅までの 12.2 km を 48 分間で走る。都電が敷設され始めたのは、日本が日露戦争に勝利し、重工業が大きく発展しようとした頃であった。明治 44 年 (1911)、大塚駅前から飛鳥山駅までの 2.5 km (王電＝王子電気鉄道) が最初の路線。以後、都内を縦横に走るようになり、昭和 17 年 (1942) には東京市電となり、翌年には都電となった。

こうして、都民の足となった都電であったが、戦後の経済成長のなか、遅くて大量の乗客を運べない都電は“時代遅れ”になってしまった。次第に廃止され、現在では荒川線を残すのみ。しかし下町情緒が残る沿線を走る都電は、東京の貴重な風物詩となっている。

④ 金乗院 (目白不動)



● 銅版葺きの山門に神霊山の山号が掲げられていて、左脇には「江戸長谷寺」の石標がある。正式には「神霊山金乗院慈眼寺」といい、真言宗豊山派の寺である。開山は永順と伝わっている。本尊は聖観音像で高さ 5.5 センチの秘仏。

● 長谷寺とは、奈良の総本山長谷寺の末寺で、東豊山浄滝院と号し目白不動のこと。弘法大師作と伝わる 25 センチの不動明王が本尊。始めは文京区関口にあり、徳川二代将軍秀忠公の命で伽藍を建立、三代将軍家光公の時に「目白」の号をもらい、江戸五街道守護の 5 色不動 (青・黄・赤・白・黒) の一つとして目白不動尊として庶民の信仰を集めた。戦

災で焼失し廃寺となり、金乗院に合併された。



● 左の画像は、境内に祀られている「倶利伽羅不動庚申塔」です。三猿の上の剣を呑まんと四肢を剣に巻きつけた龍の姿で、不動明王の法形を表わした珍しい庚申塔です。寛文 6 年 (1666) に建立されました。

● 霊園には、我が国の公開図書館の祖といわれる「青柳文蔵の墓」がある。青柳文蔵は仙台の出身で、儒学、医術を修め亀戸で開業し、蓄えた富で 2 万巻の書物を集め、その書物を天保 2 年 (1831) 仙台藩に献上し、仙台藩は「青柳文庫」と名付け、藩士はだれでも利用できるという、我が国最初の公共図書館であった。

また、「由井正雪」と江戸幕府転覆を謀った「慶安事件」(慶安 4 年＝1651) を起こした首謀者の一人「丸橋忠弥」の墓がある。事件後の安永 9 年 (1780) に親族が建てた。首塚は南品川の妙蓮寺にある。

● 「慶安事件」の背景は、徳川三代将軍家光公の武断政治で浪人が溢れていた時、家光公は 48 才で亡くなり、四代将軍家綱公はまだ 11 才であった。由井正雪は道場を開き、槍術の名人丸橋忠弥と出会い、大阪の金井半兵衛とも親交を結び、天下を狙ったが、江戸幕府の知恵者・松平伊豆守信綱に見破られ、由井は駿河で、金井は大阪で自刃。丸橋は鈴ヶ森で磔の刑で、この事件は終焉した。

⑤ 宿坂と鎌倉古街道

●金乗院前の坂道を往古の鎌倉道という。

この道は西早稲田3丁目にある亮朝院前の細い道から、山吹の里碑が立つ面影橋をわたり金乗院に出て目白通りを越え鬼子母神の南側を通過して明治通りに達している。

金乗院の裏に中世の頃、関所が設けられ、「暗闇の関」と呼ばれていた。そして、この坂は樹木が茂って昼間で暗く寂しい場所だったので「くらやみ坂」とも云われていた。

⑥ 南蔵院



● 鎌倉古街道にある真言宗豊山派の古刹で、明治の名人落語家「三遊亭圓朝」の名作「怪談・乳房榎」の舞台になった寺である。

室町時代、円成比丘という僧が回国修業中に奥州平泉の農家で入手したという薬師如来が本尊で、聖徳太子の作で、奥州藤原三代藤原秀衡の念持仏という。円成比丘がこの地を通ると「薬師如来」は、にわかに重くなり、草庵を建て安置したのが、南蔵院の始めと伝えられる。山号が「大鏡山」となっているが、寺の前に「鏡が池」という大きな池があったことにちなむという。また、神田川の左岸のこの辺りは、江戸時代は「砂利場村」と呼ばれ、砂利の採取場があった。落語の中にも「砂利場村」が出てくる。

⑦ 高田氷川神社

● 創建は明らかではありませんが、総本社大宮氷川神社から分霊して下高田村の総鎮守としたという。

素戔鳴命が主神で、俗に「男体の宮」という。新宿区下落合2丁目の氷川神社は、稲田姫命が主神で「女体の宮」と云われ、双方合わせて「夫婦の宮」と呼ばれた。

寛政2年(1790) 銘の石鳥居は鳥羽藩主の寄進によるものです。

⑧ 山吹の里碑と面影橋



● 左の画像は、山吹の里と彫られた観音像の石碑です。この地は江戸城を創った太田道灌(1432-86)の伝説にちなむもので、太田道灌が狩りに出かけた時、にわか雨になり、付近の民家に立ち寄り「蓑」を借りようとしたところ、出てきた少女に山吹の花一輪を差し出されました。道灌は意味が分からなかったが、後で「後拾遺和歌集」で詠んだ中務卿(なかつかさきょう)兼明親王(914-87)の「七重八重…」の和歌の「実の」と「蓑」の掛け合わせを知り、古歌を知らなかったことを恥じ、それ以降、道灌は歌人としても名を成す武人となったということです。新宿区山吹町がありますがこの辺り一帯を指していると思います。そのほかにも伝説地が各所にあるようです。

● 面影橋は神田上水工事が行われた承応年間(1652-55)に架けられたという。伝説もあり、昔この辺りに住んでいた姫が美人であったため次々と災難に襲われた。姫は命より大切な黒髪を切り、変わり果てた姿を川面に映したという悲話もあるという。かぐや姫の「神田川」もこの辺りですか？

⑨ 甘泉園



● 甘泉園は新宿区内唯一の回遊式庭園です。「甘泉園」の名は、ここから湧く泉の水がお茶に適しているところからきたと云われています。

江戸時代の宝永年間（1704・11）徳川御三家の一つ尾張徳川家の拝領地となり、その後安永三年（1774）に初代清水家の江戸下屋敷が置かれていました。明治以降は子爵・相馬邸の庭園として整備され、昭和には早稲田大学が附属甘泉園として譲り受けました。昭和44年には区立公園となりました。

池を抱く森は周辺とは別世界の静けさを演出し、四季を通じて訪れた人々を和ませてくれます。

伝説として、鎌倉時代源頼朝が愛馬の足を冷やしたということも伝わっています。（新宿区 HP より）

⑩ 水稻荷・堀部安兵衛の碑



● 甘泉園の南に水稻荷神社がある。太田道灌が山吹の里で狩りを行い、ここで休憩した。その時植えたのが「道灌つかみさし榎」。この榎の空洞から元禄10年（1697）突然水が湧きだした。どんな旱魃の時でも枯れることがなく霊水とされ「水稻荷」の名がついた。榎は戦災で焼失し今はない。入口に「堀部武庸加功遺跡」の石碑がある。

● この碑は、堀部安兵衛助太刀の場所の碑です。元禄7年（1694）2月11日、安兵衛は叔父の菅野六郎左衛門の果し合いに助太刀し相手方三人を切り倒した。この決闘で助太刀した安兵衛の活躍が江戸市中で評判になり、後に講談や芝居の話題となりました。安兵衛は元禄15年（1702）吉良邸にも討ち入りしその功績を称えて、明治43年（1910）この碑は建立されました。

⑪ 大隈重信公と

早稲田大学



● 大隈重信公は天保9年（1838）に佐賀・鍋島藩の鉄砲組頭の子として生まれた。幕末に尊王攘夷派にくみし、脱藩し、徳川慶喜公の大政奉還を画策した。明治維新後、大蔵卿などの要職に就いたが、明治14年（1881）の政変で、薩摩・長州と対立し野に下った。のち立憲改進黨や進歩党を結成し、政党政治に邁進。明治31年（1898）には板垣退助と憲政党を結成し、我が国初の政党内閣・隈板（わいはん）内閣をつくった。

● 早稲田大学は、明治14年の政変の翌年、大隈が有為の青年を育成するため「東京専門学校」として開校し、明治35年（1902）早稲田大学と改称した。当時この高台一帯は森であり「都の西北 早稲田の森…」の校歌の通りであったという。大隈公の銅像は朝倉文夫により昭和7年（1932）の作品である。

⑫ 穴八幡宮



● 穴八幡宮は、江戸時代から続く「一陽来復御守」は融通の御守として、現在でも広く崇敬を集めており、毎年「冬至から節分」までの期間のみ授けられています。

● 康平5年(1062)に、前九年の役を平定した源義家が凱旋の際、この地に兜と太刀を納めて八幡神を勧請したことにはじまり、寛永13年(1636)には幕府の御持弓組組頭松平直次が、この地に的場を築き、射芸の守護神として、八幡宮を崇敬しお祀りしました。のちに宮守の庵を造るため、南側の山裾を整地した時に神穴が出現し、「穴八幡宮」と呼ばれるようになったという。

⑬ 放生寺



● 穴八幡宮の隣にあり、江戸時代は穴八幡宮の別当寺であった。御府内88ヶ所30番霊場で「一陽来福」の創始寺。高野山真言宗。創建は寛永18年(1641)。開山は良昌(りょうしょう)上人。

「虫封じの寺」としても有名であった。穴八幡宮との境に崖があり、その洞窟から、本尊の阿弥陀如来が出現したという。洞窟は江戸城の隠し穴とも云われるという。

(注) 別当寺とは、神社境内に建てられ、別当が止住し、読経・祭祀(さいし)・加持祈祷を行うとともに神社の経営管理を行っていた寺。

⑭ 都立戸山公園と

箱根山



● 都立戸山公園は、鎌倉時代は源頼朝の武将和田左衛門尉義盛の領地で、和田村と外山村両村に属していたことから和田外山と呼ばれていた。

● 江戸時代は御三卿筆頭の尾張藩の下屋敷でした。尾張藩二代藩主徳川光友公時代の寛文年間(1661-73)箱根山を中心に町屋が36軒建てられ、東海道五十三次に似せた街道町や戸山荘の庭園がありました。この庭園は起伏に富む地形を生かして造られた約449,000平方メートル(約13万5千坪)にも及ぶ広大なもので、約8割が池という池泉式回遊式の庭園でした。

● その一画に高さ44.6mのお椀を伏せたような形の玉円峰と呼ばれる築山があり、それが現在の箱根山です。

● 明治維新後は土地の所有が、明治政府に移ると庭園は壊され「陸軍戸山学校」が設けられ、射撃場、軍医学校…など、軍事面で近代国家を支える拠点となっていく。第二次世界大戦後は国有地となり、昭和29年(1954)から現在の公園になりました。

⑮ 穴八幡宮流鏝馬神事



● 穴八幡宮の流鏝馬神事は徳川八代將軍吉宗公が始められ、現在は戸山公園にて、昭和54年から国民体育の日に開催されています。

東京都雑司ヶ谷



霊園案内図

お問い合わせ先

指定管理者  公益財団法人東京都公園協会 雑司ヶ谷霊園管理事務所

住所：〒171-0022 東京都豊島区南池袋4-25-1

■当霊園に関すること：雑司ヶ谷霊園管理事務所

TEL：03-3971-6868 ※8:30～17:15(年末年始を除く)

FAX：03-3971-1355 ※崇祖堂 開館時間9:00～16:30

■公益財団法人 東京都公園協会の事業全般に関すること

お客様サポートセンター

TEL：03-3232-3038 ※8:30～17:30(土日・祝日、年末年始を除く)

TOKYO霊園さんぽ

検索

URL：http://www.tokyo-park.or.jp/reien/

雑司ヶ谷霊園のあらまし

雑司ヶ谷霊園は、もと雑司ヶ谷旭出町墓地を東京府が引き継ぎ、明治7年9月1日雑司ヶ谷墓地として開設したものである。その後明治22年東京市に移管、昭和10年には「雑司ヶ谷霊園」と改め現在に至っている。また、昭和13年12月には「崇祖堂」が建設されロッカー形式の短期収蔵施設(旧家族納骨壇)、一時収蔵施設、簡易な法事が可能な式場が設置され、需要の増加に伴い昭和34年5月増改築を行い現在の建物になっている。

池袋副都心に近く、園内はほぼ平坦で、ケヤキの古木等の緑が多く、貴重な自然環境の空間を提供している。また夏目漱石・泉鏡花・小泉八雲・竹久夢二・永井荷風など多数の文化人が眠る墓所があり、散策に訪れる人も多い。



おたずねのお墓は

種 号 側 番 です。

施設

■ 一般埋蔵施設

■ 短期収蔵施設

■ 一時収蔵施設

■ 式場

使用者数：8,272人
 総合面積：106,110㎡
 収蔵施設数：3,950箇所
 施設面積：1,958㎡
 保管可能数：2,880体
 施設面積：229㎡
 2時間単位 80名程度迄併設(和洋室約30名)

水汲み場 

トイレ 

公衆電話 

ベンチ 

不要物集積所 

下げ花置場 

通用門 

車止め 



管理事務所からのお願い・ご注意

●墓所の管理

墓所はご使用者様ご自身で管理していただくことになっています。墓所内の樹木はご自身で、墓所間の樹木は相互で処理してください。近隣に迷惑にならないよう細やかな管理をお願いします。

●管理料のお支払いについて

管理料滞納5年以上で使用許可取り消しの対象となります。管理料のお支払いには、口座振替のご利用をお勧めします。なお、転居された場合は、必ず住所変更の届け出をお願いします。

●お彼岸・お盆等の交通事情

お彼岸・お盆・休日は道路が渋滞し、駐車場も満車状態になりますので、公共交通機関のご利用をお願いします。

●下げ花、ゴミなど

下げ花はゴミ袋に入れ、塔婆は紐でまとめて下げ花置き場が集積所にお持ちください。お弁当やペットボトルなどの生活ゴミはお持ち帰りください。業者に依頼した手入れのゴミは業者に持ち帰ってもらってください。

●火気注意

お線香に火をつける際は周囲に燃えやすいものがない場所をお願いします。落葉やゴミの焚き火は行わず、袋に入れて下げ花置き場が集積所にお持ちください。

●犬の散歩マナー

犬の散歩は必ずリードをつないでください。また、犬のふんは飼い主が責任をもって始末してください。



●交通

・JR大塚駅のりかえ都電荒川線「都電雑司ヶ谷駅」下車・徒歩2分
・東京メトロ有楽町線「東池袋駅」下車 (No.5出口)・徒歩7分

・JR・地下鉄・西武・東武線「池袋駅」下車 東口・徒歩約20分
・東京メトロ副都心線「雑司ヶ谷駅」下車 (No.1出口)・徒歩約8分

東京都雑司ヶ谷霊園に眠る著名人

50音	氏名	墓所番号	職業	生没年
あ	① 安部 磯雄	1種1号10側39番	社会運動家	慶応元 ～昭和24
	② 安藤 鶴夫	1種19号4側7番	作家、 演劇評論家	明治41 ～昭和44
い	③ 池田 菊苗	1種9号7側35号	化学者、 うまみ成分発見	元治元 ～昭和11
	④ 伊沢 修二	1種10号8側1番	音楽教育者	嘉永4 ～大正6
	⑤ 泉 鏡花	1種1号13側33番	小説家	明治6 ～昭和14
	⑥ 市川 左団次	1種8号17側8番	歌舞伎役者 3代目	明治31 ～昭和45
	⑦ 市村 羽左衛門	1種15号2側17番	歌舞伎俳優 15代目	明治7 ～昭和20
	⑧ 岩瀬 忠震	1種1号8側6番	幕末の外交家	文政元 ～文久元
	⑨ 岩野 泡鳴	1種20号12側18番	小説家	明治6 ～大正9
	⑩ 江戸家 猫八	1種西6号3側18番2	動物声帯模写 初、3、4代目	明治元～ 昭和7(初代)
	⑪ 大井 憲太郎	1種16号3側16番	自由民権運動の 指導者	天保14 ～大正11
お	⑫ 大川 橋蔵	1種1号13側44番2	俳優	昭和4 ～昭和59
	⑬ 大下 藤次郎	1種1号12側15番	水彩画家	明治3 ～明治44
	⑭ 大須賀 乙宇	1種16号9側10番	俳人	明治14 ～大正9
	⑮ 大塚 楠緒子	1種1号11側9番	詩人・小説家	明治8 ～明治43
	⑯ 大町 桂月	1種9号5側17番	文学者・評論家	明治2 ～大正14
	⑰ 荻野 吟子	1種5号23側35番	女医	嘉永4 ～大正2
	⑱ 柏井 園	1種8号9側34番	神学者	明治3 ～大正9
か	⑲ 金子 馬治	1種1号9側13番	文学者・哲学者	明治3 ～昭和12
	⑳ 神尾 光臣	1種16号2側1番	陸軍軍人	安政2 ～昭和2
	㉑ 川本 幸民	1種2号1側3番	蘭学者	文化7 ～明治4
	㉒ 窪田 空穂	1種9号8側20番	歌人	明治10 ～昭和42
け	㉓ ケーベル ラファエル	1種東6号2側13番	哲学者、 都指定旧跡	弘化3 ～大正12
こ	㉔ 小泉 八雲 ラフカディオ・ハーン	1種1号8側35番	作家	嘉永3 ～明治37

50音	氏名	墓所番号	職業	生没年
さ	㉕ 佐野 利器	1種西6号8側23番	建築学者	明治13 ～昭和31
し	㉖ 島村 抱月	1種16号2側12番	新劇運動家	明治4 ～大正7
	㉗ 白鳥 庫吉	1種8号12側18番	東洋史学者	慶応元 ～昭和17
た	㉘ 武林 無想庵	1種1号4側24番	小説家	明治13 ～昭和33
	㉙ 竹久 夢二	1種8号9側32番	画家	明治17 ～昭和9
つ	㉚ 綱島 梁川	1種1号2側6番	思想家	明治6 ～明治40
と	㉛ 東儀 鉄笛	1種1号1側11番	雅楽家	明治2 ～大正14
	㉜ 東郷 青児	1種15号19側3番	洋画家	明治30 ～昭和53
	㉝ 東條 英機	1種1号12側6番	軍人・首相	明治17 ～昭和23
な	㉞ 永井 荷風	1種1号7側3番	文筆家	明治12 ～昭和34
	㉟ 中浜 万次郎 ジョン・万次郎	1種15号19側1番	アメリカ文化紹介 者、初めてアメリ カに渡った日本人	文政10 ～明治31
	㊱ 中村 是公	1種2号10側8番	官吏・政治家	慶応3 ～昭和2
	㊲ 夏目 漱石	1種14号1側3番	文学者	慶応3 ～大正5
	㊳ 成島 柳北	1種4号6側2番	ジャーナリスト	天保8 ～明治17
	㊴ 成瀬 仁蔵	1種17号6側1番	女子教育者	安政5 ～大正8
は	㊵ 羽仁 五郎	1種1号10側42番	歴史家	明治34 ～昭和58
ま	㊶ 松永 和風	1種15号3側4番	長唄家元 4代目	明治7 ～昭和37
み	㊷ 水野 仙子	1種15号14側4番	小説家	明治21 ～大正8
む	㊸ 村上 専精	1種4A号6側1番	インド哲学者	嘉永3 ～昭和4
	㊹ 村山 槐多	1種20号6側10番	洋画家	明治29 ～大正8
も	㊺ 森田 草平	1種東6号3側9番	小説家	明治17 ～昭和24
や	㊻ 山本 忠興	1種14号13側2番	電気工学者	明治14 ～昭和26
わ	㊼ 和田垣 謙三	1種16号12側2番	経済学者、 東京帝大教授	万延1 ～大正8
	㊽ 渡辺 重石丸	1種11号6側6番	国学者	天保8 ～大正4